# 和文原稿作成要領

（1995 年 7 月 16 日，一部改正）（2003 年 5 月 15 日，一部改正）
（1997 年 7 月 26 日，一部改正）（2009 年 9 月 5 日，一部改正）
（2000 年 8 月 10 日，一部改正）（2012 年 10 月 27 日，一部改正）
（2001 年 1 月 18 日，一部改正）（2017 年 9 月 11 日，一部修正）
（2022 年 11 月 30 日，一部改正）

**1. 原稿の書式**

（1） 原稿は，A4 判縦置き横書きで，1行 36 字×24 行を 1 枚とする．マージンは上下左右に 3 cm 以上の余白をとる．

（2） 原稿は，表題，著者名，所属機関名，所在地，英文表題，英文著者名，英文所属機関名，英文所在地，英文の Abstract，Key Words，緒言，材料および方法，結果，考察，摘要，キーワード，（謝辞），引用文献の順とする．但し，学問分野により形式の多少の変更はかまわない．

（3） 改行入力は段落の終わりのみにして表示画面の各行の終わりではしない．余白に行数，頁番号を付ける．

（4） 和文は全角の P 明朝体とする．句読点は全角の“．，；：”などとし，半角の“.，;：”は使用しない．ただし，アルファベット，数字は Times New Roman の半角とする．英文の書式は英文原稿作成要領に従う．フォントサイズは 12 ポイントがのぞましい．

（5） 学名は，イタリック体とする．量記号はイタリック体（斜体）またはギリシャ文字，単位記号はローマン体（直立体），演算記号は特殊なものを除きローマン体（直立体）とする．

［例］

$$\left(x = \frac{1}{2}at^2\ \mathrm{m},\quad L = b\cos\theta\right)$$

**2. 原稿の整理**

（1） 表題，著者名，所属機関名，所在地

1） 表題には主題のほか副題を記載することができる．副題の前後には全角のハイフンを入れる．英文は，前置詞，接続詞，冠詞以外は単語の先頭文字を大文字とする．

2） 和文著者名では，複数の著者名を全角「・」で区切る．

3） 英文著者名は，姓は全て大文字で頭文字以外は文字を小さく表記（スモールキャピタル）する．姓以外の名前は先頭文字のみ大文字で記載する．複数の著者名はコンマで区切る（著者が 2 名以上の場合は最後の著者の前に and を入れ連記する）．例えば，

Masayuki KADOWAKI, Kazuhiro KOBAYASHI and Shingo MATSUMOTO

4） 責任著者（corresponding author）は名前の後ろにアスタリスク「*」を付し，連絡先メールアドレスを記すこと．

5） 所在地は郵便番号，市町村名，番地の順で記す．

（2） 英文 Abstract およびキーワード

1) 英文 Abstract は 250 語程度，英文キーワードは 5 単語以内とする．英文キーワードはアルファベット順に記す．

2) Abstract およびキーワードの見出しはゴシック体とする．

（3） 緒言，材料および方法，結果，考察，引用文献，キーワード

1） 本文中の「緒言」，「材料および方法」等の見出しはゴシック体とする．

2） 本文中の文献引用形式は，例えば，近藤・辻（2010），(Kondo and Tsuji, 2009)，（山口ら，2008）のようにし，著者が 3 名以上の場合に限り筆頭著者のみ記し，残りのものは和文の場合は「ら」，英文の場合は"et al."とする．
英文において，半角の“. , ; :”のあとは半角あける．半角の“( )”の前後は半角あける．半角の“.,”の間はあけない．

3） 和文キーワードは 5 単語以内とし，アイウエオ順で記す．

（4） 引用文献の記載と例

1） 引用文献は著者名のアルファベット順で記載する．同一筆頭著者のものは年次順とする．同一筆頭著者で同一年次のものは年次の後に a,b などを

付す.

2) 引用文献の記載順は，著者名，年代，表題，雑誌名（または書名），巻（号），頁，発行所（書籍の場合），発行地（書籍の場合）の順とし，各引用文献の著者の前に番号はつけない．また，雑誌名は原則省略しない．但し，当該誌が論文のヘッダーに略記（短縮名）している場合は，それに従う.

3) 英文文献において，半角の“. , ; : ”のあとは半角あける．半角の“( )”の前後は半角あける．半角の“.,”の間はあけない.

4) 引用文献として記載するものは引用した文献に限る．同一著者名，同一雑誌名が続いた場合，—・—・，Ibid などと省略しない.

5) 各引用文献の最後にはピリオドを付ける.

6) 引用文献記載例（2 行目以降は 1 字分をぶら下げインデントする）

廣瀬友二・田邊 猛．2002．茶園における中切せん枝処理が根系に及ぼす影響．農生技管誌．9: 97-100.

渕之上康元・渕之上弘子．1999．日本茶全書．p. 32．農文協．東京.

Dann, R., P. H. Jerie and D. J. Chalmers. 1985. Short-term changes in cambial growth and endogenous IAA concentrations in relation to phloem girdling of peach, *Prunus persica* (L.) Batsch. Aust. J. Plant. Physiol. 12: 395-402.

Murray, S. 1996. Neural networks for statistical modeling. p. 151-167. International Thomson Co. Press, London.

(5) 図表については次の要領に従う.

1) 図は写真製版になるので，図中の文字を鮮明にする．カラー印刷を希望する場合はそれぞれの図表の欄外に「カラー印刷」と明記する.

2) 表は，横線のみを使用し，縦線は使用しない．また，最上段を 2 重線，その他を同じ太さの1本線とする．表の文字は P 明朝体とする.

第○表 ・・・・・

| aaaa | bbbb | cccc |
|---|---|---|
| AAA | 1111 | 2222 |
| BBB | 2222 | 4444[z] |

[z]・・・・

3) 脚注は “*, **, #, ##”などではなく，アルファベットの後ろから（z, y, x, . . . ）の文字を使用するのが望ましい.

4) 図中の文字・数字は P 明朝体とする.

5) 英文タイトルの場合は最後にピリオドを付す.

(6) 再投稿する際は次の要領に従う.

1) 修正・削除・追記した箇所は，文字の色等を変更することにより明示する.

**3. 論文採択決定後に提出する電子化ファイルの作成**

(1) 電子化ファイル作成は，OS に Windows あるいは Macintosh を使用する.

(2) 英文 Abstract の英文添削を証明するものも提出する.